

自分らしく 生きられるようにするために ～ ソーシャルワーカーとして ～



講師

国立療養所^{おくこうみょうえん}邑久光明園 ソーシャルワーカー

坂手 悦子さん 大阪府出身

ハンセン病を知るきっかけとなったのは、4歳の頃に見た映画「ベン・ハー」。主人公の母と妹が患者として生々しく描かれ、子供心に怖いと思った。

高校時代には、「治っている病気なのに、隔離されている人たちがいる」と教えられ、強制隔離を続けた国の政策に憤りを覚えた。大阪大学に進学後も勉強を続け、大学院生の時には、群馬県の国立療養所^{くじゅうらくせんえん}栗生楽泉園に長期滞在し、入所者から聞き取りを行った。その後、フィリピンのハンセン病コミュニティで1年間フィールドワークを行った。

1999年、「入所者の方のそばで働きたい」と岡山県の国立療養所^{おくこうみょうえん}邑久光明園に就職し、現在に至るまで20年以上、^{おくこうみょうえん}邑久光明園のソーシャルワーカーとして、入所者の方への支援、ご家族とのつながりの支援を行っている。

とき

令和6年 **11月29日(金)**

9:15~10:05

ところ

白川郷学園 夢ホール 白川村鳩谷614-1
(後期課程校舎1階)

申込み

・11月28日(木)の人権教育研究公表会とは別に申し込みが必要です。
村外にお住まいの方のみ、右のQRコードからお申し込みください。
※村内にお住まいの方の申し込みは不要です。

